



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジエノクロルを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物(施設栽培、ただし、カーネーション、ばらを除く)	ハダニ類	1000倍	—	—	散布	—
カーネーション(施設栽培) ばら(施設栽培)		1000～1500倍				





効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期にかけ残しのないようていねいに散布する。
- 開花期の散布は花に薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
- 本剤は紫外線により分解されやすく効果が劣るので、施設内以外では使用しない。
- 蚕に対して強い影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

